

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	その他のサービス [レンタカー] (営業担当)	来客数の動き	・稼働率が、前年同月比で110%と好調に推移している。観光客のレンタカーの利用が前年以上に伸びている。
	変わらない	コンビニ (エリア担当)	お客様の様子	・飲料等の落込みが顕著だったが、単なる気候の影響ではない。飲料自体の値上がりはないが、他食品の値上がりがあり、その影響で購買自体を控えている傾向がある。結果購買数減、来客数減と悪循環になっている。
		衣料専門店 (経営者)	お客様の様子	・客が衝動買いをしなくなっている。その日は考えてから後日来店する客もいる。結構悩んで買うのをやめるなど、より慎重になっている。
		観光型ホテル (商品企画担当)	販売量の動き	・ここ3か月、前年を少し上回る稼働率で推移している。
		観光型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・旅行代理店の情報によれば沖縄への送客は他の都道府県に比べ好調とのことであるが、前年同期比や売上目標達成率などそれほどの変化は無い。
		ゴルフ場 (経営者)	来客数の動き	・暖冬の前年より冷え込んでいるので、その反動から若干だが県内へのゴルフ客は微増している。ただ、基本的にはパイを奪い合っている状況がみられる。
	やや悪く なっている	一般小売店 [衣料品・雑貨] (経営者)	来客数の動き	・例年の2月と比較して寒さと悪天候続きで来店者数が2割減、売上も1割減少している。2月は1年を通して最も売上の少ない時期だけに厳しい結果となっている。
		一般小売店 [鞆・袋物] (経営者)	お客様の様子	・以前より、客が買物に対してより慎重になっている。何回も下見した上で購入する場合や、ウィンドウショッピングが増えている。
		コンビニ (エリア担当)	お客様の様子	・買上点数減少、単価割れの動きは止まっていない。
		家電量販店 (総務担当)	販売量の動き	・光ディスク業界の大きな動きに対する不感や、テレビパネル製造に関する提携のニュース等を受け、客が待ちの姿勢になっている。
		その他専門店 [楽器] (経営者)	販売量の動き	・国際通りの通行客数も売上も前年を大きく割り込んでいる。他の部門も売上減で、数字の維持さえもこれからは厳しい。
		その他専門店 [書籍] (店長)	販売量の動き	・目に見えて販売量が減ってきている。以前なら10冊入荷して10冊売れたものが、今では8冊程度しか動きがない。作品の質が落ちたという訳ではなく、単純に購入する客が減ってきている。
		観光型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・3か月前と比べて、総売上では15%減、前年同月比では15.3%減と大幅に減少している。他に婚礼を中心としたバンケット部門の売上では前年比25%減、レストラン等の付帯部門も13%減となっている。宿泊客数も5%減少し、厳しい状況である。
通信会社 (店長)		来客数の動き	・2月下旬から緩やかに状況が改善しているが、前年の今頃と比べると来客数は減少している。	
観光名所 (職員)		来客数の動き	・平成19年10月以降沖縄観光は弱含みの状況である。当施設の利用者数は、3か月前の平成19年11月は前年同月比で109.3%であった。今月は2月25日現在で99%で、前年同月を割り込む利用状況となっている。2月の入域観光客数も前年同月を維持する程度になるものと思われる。来園者は、一般団体、学生の卒業旅行等が中心である。	
悪く なっている	百貨店 (担当者)	販売量の動き	・2月は1月に続き天候不良に苦戦している。月初めは気温の低下、雨により客数が少なく衣料を中心に苦戦した。特に婦人衣料の悪化が顕著である。季節的には春商品の展開時期であるが、入荷が遅れ天候不順と合わせてマイナスの要因となる。	

		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・観光客は増加しているが、地元の客の外食回数が格段に減っている。外商、外配、イベント、チケット、メニュー替え、固定客へのアタック等で、辛うじて売上目標はクリアしているが、食材の値上がり分を売価に上乗せできないのと、宣伝費の増加、従業員の賃金の値上がりで、経費の上昇が止まらない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	コピーサービス業（代表者）	受注価格や販売価格の動き	・前年は売上競争が激しく、当社の精一杯の原価計算で見積に望んでもなかなか受注できなかった。そこで、今年は受注できない理由は何であるか再検討して、売上件数を優先して多少利幅を下げて受注に専念したところ、売上につながってきている。
	変わらない	通信業（営業担当）	それ以外	・1つのプロジェクトでソフト開発の赤字が発生し、前年の秋ごろからコスト割れの状況が起きている。原因は、受注の際の問題が大である。顧客との調整も不調に終わり、単年度の利益を食いつぶしている状況である。
		会計事務所（所長）	それ以外	・政治的な不安定が続いていること、財政赤字も減らないことから特に公共投資に依存する本県では影響が大きい。
	やや悪くなっている	建設業（経営者） 輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き 競争相手の様子	・引き合い件数の低下、及び改正基準建築法の影響で、建築確認がなかなか下りない。 ・引き続き燃料の高騰による収益圧迫や荷主からの要望による物流費値下げの動きが続いている。
悪くなっている	-	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣の求人依頼が前年12月頃から伸び始め、今月からは落ち着いてくると予想していたが、今月になっても依頼は増え続けている。年度末と言う単発で時期的なものもあるだろうが、新規の中長期の依頼も増えている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・業界にもよるが、新規求人に関しては、県内・県外とも順調に求人票が届いており、人材不足感は続いている。また求人数も増加している。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内企業の求人の活気は、前年の同時期に比べてやや弱くなっている。ただし、県外の求人は相変わらず多い状況である。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・株価下落、円高、原油高による大手企業への影響度が心配である。それに伴い中小零細企業へ及ぼす影響もある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成20年1月の常用求人数が2,349人で3か月前と比べて16.1%減、前年同月比で13.8%減となっている。平成20年1月の常用求職者は、4,337人で3か月前と比べて3.5%減、前年同月比で13.1%減となっている。
悪くなっている	-	-	-	